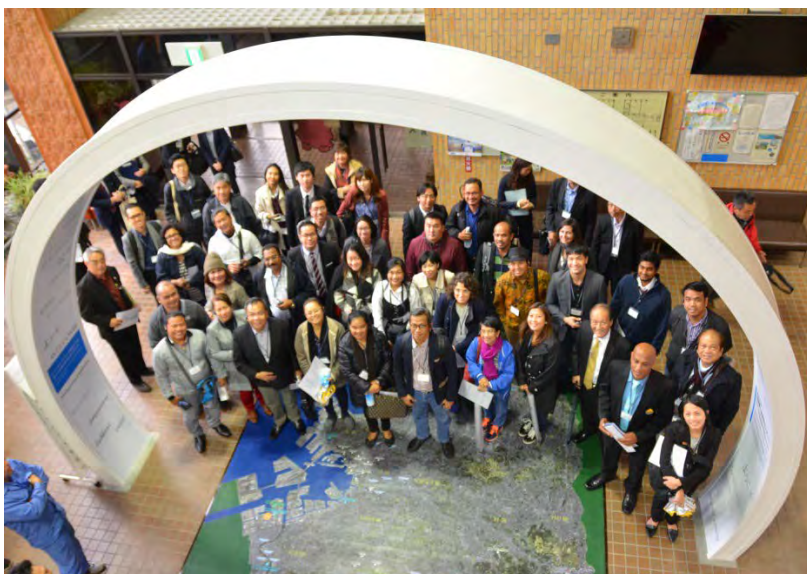




第6回アジア・スマートシティ会議 開催速報



70 を超える都市・政府機関・
国際機関・企業等が参加

参加者全員による実践的な議論や
企業等のブース展示を通じ、新興
国諸都市のニーズと国際機関や企
業等のソリューションのマッチン
グの場として活発な交流が行われ
ました。

第6回アジア・スマートシティ会議及び併催イベント

10月25日(水)	10月26日(木)	10月27日(金)
横浜市内インフラ視察	併催イベント Yokohama Youth Event 2017 (主催：横浜国立大学、横浜市立大学、横浜市) Smart Urban Development Conference (主催：世界銀行、アジア開発銀行)	第6回アジア・スマートシティ会議 (主催：横浜市)

【10月25日(水)】 横浜市内インフラ視察

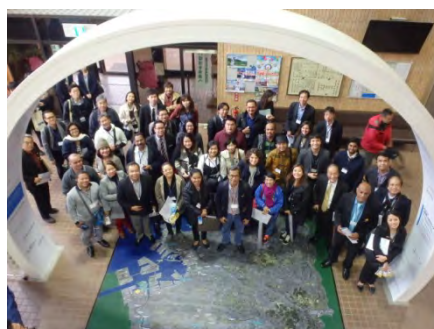
日 時：平成29年10月25日(水) 13:00-17:30

参加者：第6回アジア・スマートシティ会議参加者(任意) 約50名

視察先：横浜市環境創造局 北部下水道センター (横浜市鶴見区末広町1丁目6番地の8)
港北ニュータウン (横浜市都筑区)



北部下水道センター



北部下水道センター



港北ニュータウン



【環境未来都市】環境問題や超高齢化への対応などの様々な社会的課題に総合的に取り組んで活力ある都市をつくる、国家的なプロジェクトのひとつです。横浜市は、平成23年12月、国から「環境未来都市」に選定されました。

【10月26日(木)】 併催イベント

● 横浜国立大学・横浜市立大学・横浜市共催

Yokohama Youth Event 2017

開催時間：平成29年10月26日（木）14:00～17:00

会 場：パシフィコ横浜 会議センター301

本イベントは、本年5月に第50回アジア開発銀行(ADB)年次総会で開催された「次世代育成セミナー」のフォローアップ事業として実施されました。横浜国立大学及び横浜市立大学の学生が、海外の専門家やADBエコノミスト等とアジアにおけるスマートシティ開発や、日本企業のアジアでのインフラビジネスといった専門的なテーマについて、活発な議論を行いました。



● 世界銀行・アジア開発銀行共催「スマートな都市開発会議」

開催時間：平成29年10月26日（木）9:00～17:00

会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 3階 ボールルーム

国内外の専門家や海外都市の代表者を招へいし、世界銀行の都市開発の専門家とともに、先進国、途上国におけるより効率的かつ効果的な都市開発に向けたソリューションや実践的なデータ活用ノウハウについて議論が行われました。



【10月27日(金)】 第6回アジア・スマートシティ会議

1. 概要

環境未来都市である横浜市では、アジア新興国諸都市の市長や国際機関等の有識者が一堂に会し、持続可能な都市づくりの実現に向けた知見を共有する「アジア・スマートシティ会議」を平成24年から開催しています。

第6回となるアジア・スマートシティ会議では、都市の市長を含む代表者や、日本政府、国際機関、学術機関、民間企業など70を超える組織・機関からの参加がありました。

今回議論した内容は「第6回アジア・スマートシティ会議宣言(横浜宣言)」として取りまとめ、COP23において紹介する予定です。

2. 内容

- 午前中は、4つの分科会テーマにより、各都市・機関等の代表者からの発表や議論を行いました。
 - 第1分科会：スマートシティにおける廃棄物・汚泥処理
 - 第2分科会：省エネ、低炭素な都市づくりの実現に向けたアプローチ
 - 第3分科会：ICT・ビッグデータの活用
 - 第4分科会：日本の経験
- ランチ会場では、横浜市内企業等による展示などを通じて、アジア・スマートシティ会議参加者とのビジネス・マッチングが行われました。
- 午後の全体会議においては、林横浜市長による開会挨拶に続き、堀井外務大臣政務官、高橋環境省地球環境審議官、河野 OECD 事務次長から基調講演をいただきました。
- 2つのラウンドテーブルセッションでは、全体モデレーターであるアジア開発銀行前副総裁ビンドゥ・ロハニ氏のリードにより、各分科会の議論を持ち寄ると共に、国際機関や民間企業、アジア都市の登壇者から各機関のもつ技術や知見、都市課題について共有しました。
- クローリングセッションでは、武内 IGES 理事長からご挨拶いただいた後、前日に開催された Yokohama Youth Event 2017 での議論を踏まえた学生によるスピーチが行われました。
- 第6回アジア・スマートシティ会議で議論した内容を「第6回アジア・スマートシティ会議宣言(横浜宣言)」としてまとめ、林市長及びオスマニア・セブ市長が発表し、参加者に採択されました。



開催概要

日 時：平成29年10月27日（金） 9:30-17:00

場 所：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル（横浜市西区みなとみらい1-1-1）

主 催：横浜市

後 援：内閣府、外務省、財務省、環境省、地球環境戦略研究機関(IGES)、国際協力機構(JICA)、
横浜市立大学

参加都市：ナウソリ市（フィジー）、ムンバイ市（インド）、バンドン市（インドネシア）、ペナン市、セブランペライ市（以上マレーシア）、マレ市（モルディブ）、ウランバートル市（モンゴル）、バギオ市、カガヤン・デ・オロ市、セブ州、セブ市、コンポステラ市、コンソラシオン市、ダナオ市、マンドゥエ市、ナガ市、サンフェルナンド市（以上フィリピン）、コロンボ市（スリランカ）、ホーチミン市（ベトナム）、福岡市、東松島市、北九州市、神戸市、富山市、横浜市

※国名（都市名）アルファベット順

参加機関等：日本政府(内閣府、内閣官房、外務省、財務省、国土交通省、環境省)、アジア開発銀行(ADB)、フィリピン共和国基地転換開発公社(BCDA)、C40、ファウンダシオ・メトロポリ、グローバル・グリーン成長研究所(GGGI)、イクレイ、地球環境戦略研究機関(IGES)、国際協力銀行(JBIC)、国際協力機構(JICA)、海外交通・都市開発事業支援機構(JOIN)、メトロセブ開発調整委員会(MCDCB)、経済協力開発機構(OECD)、ソウル市政策輸出事業団(SUSA)、国際連合人間居住計画(UN-HABITAT)、世界銀行など国際機関・大使館・学術機関・民間企業

会議内容

【分科会】

●分科会



●ランチ・ビジネスマッチング

《出展者》CITYNET横浜プロジェクト
オフィス、横浜市環境創造局・横浜市
水道局、日本電気(株)、(一
社)YUSA、(株)ファインテック、(株)グリーン、
JFEエンジニアリング(株)、(株)竹中工務
店、(株)ユニメーションシステム、横浜市
建築局・イツ・コミュニケーションズ(株)・
NTT都市開発(株)・東京急行電鉄(株)・
東急不動産(株)



【全体会議】

オープニングセッション

- 開会挨拶 横浜市長 林 文子



●基調講演



外務大臣政務官
堀井 巖氏



環境省 地球環境審議官
高橋 康夫氏



OECD 事務次長
河野 正道氏

ラウンドテーブルセッション

モデレーター：Y-PORTセンター・アドバイザー/The Resources Center 代表 Bindu N. Lohani氏

パネリスト：セッション1

- ・横浜国立大学副学長 中村 文彦 氏
- ・Y-PORTセンター・アドバイザー/ファンダシオ・メトロポリ代表 Alfonso Vegara氏
- ・地球環境戦略研究機関(IGES)都市タスクフォース プログラムディレクター/国立環境研究所社会
環境システム研究センター(環境社会イノベーション研究室) 主任研究員 藤野 純一氏
- ・アジア開発銀行 Senior Director concurrently Chief Sector Officer for Sector
Advisory Service Cluster of the Sustainable Development and Climate Change
Department Gil-Hong Kim氏

セッション 2

- ・UN-HABITAT福岡本部長 是澤 優氏
- ・アマタ・コーポレーション Chief Investment Officer Lena Ng氏
- ・ICLEI Japan事務局長 大塚 隆志氏
- ・フィリピン国家経済開発庁(NEDA) (セブ州代表) Efren B. Carreon氏



クロージングセッション

- 挨拶 地球環境戦略研究機関(IGES) 理事長 武内 和彦氏



- 学生スピーチ 横浜国立大学 早内 玄氏、横浜市立大学 トーマス・サルミ氏



- 第6回アジア・スマートシティ会議における横浜宣言
セブ市長 トーマス・オスメニャ氏、横浜市長 林 文子

